

スマートシティ目指す四條畷市

ゆつくりカート 走行試験に市民が乗車

地域課題の解決に向けスマートシティ※に向け、組み込む四條畷市は、

田原地域内の自動運転車両による移動サービス実現に向け、10月17日～31日、走行試験を行った。今回は手動運

転だが、乗客を乗せての走行で問題点を確認することが目的。

「ゆつくりカート」と



住宅街を走る「ゆつくりカート」

命名されたこの車両は、電動ランドカー（ヤマハ発動機製）をベースに名古屋大学が開発したもので、高精度三次元地図を使った自己位置測定機能で走る日本初の自動運転カート。

試乗した市民は乗り心地について、「ゆつくり走行するので景色が楽しめ快適だった」とおおむね好評だった。また、「歩いている人と話せて面白かった」、「坂が多いので家の前から乗り降りできれば良い」、「買い物支援に使うためには、手荷物や買い物カートを置いて

見が寄せられた。

※ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の先端技術やビッグデータ（人の流れ・消費動向・施設等の利用状況など）を活用し、エネルギーや交通、行政サービスなどのインフラを効率的に管理・運用する都市の概念

「ゆつくりカート」と